

種継人の会

vol. 4
平成27年
8月6日



ホウキモロコシの畑

活動三年目を迎えました

種継人の会の活動も三年目を迎えました。昨年より活動の内容を「河合の箒」と小豆「娘来た」に絞って、作業のお手伝いやPR、ワークショップなどを展開してきました。その甲斐あつてか、両方共に様々な人が関わる活動に変わってきています。

箒作りは月に一回のペースでワークショップを行うと共に、畑作りの援農を続けています。ご主人の有寿さんが高齢もあつて箒作りが出来なくなつてしまいましたが、宮子さんが技術を引き継いで箒作りを続けてくれています。また、ワークショップのメンバーや河合地区の方の中にも箒作りを再開する方が出てきて、今年のホウキモロコシの作付面積はなんと三倍以上になりました。

また、地元の幸久小学校でのほうき草栽培も今年から本格的に始まり、先日三年生が学校の畑に種を播きました。十月には梅津会館にて、メンバーの武藤が撮影した映画「河合の箒」の上映会も開催されます。

ただ、やはり箒作りは栽培も含めて職人仕事でもあります。集まつてくれている皆さんと共に練習を重ね、横山さんを中心にして、伝統に基づいた新しい「河合の箒」を作り続けてゆきたいと考えています。

一方小豆「娘来た」ですが、水戸の亀印製菓さんが興味を持ってくださり、今年から約一トンの収穫を目指して栽培会が発足しました。昨年の常陸太田ファーム&キッチンをきっかけにこの小豆の地域での知名度も上がり、多くの生産者に種が受け継がれ、栽培が始まっています。栽培会のメンバーはお年寄りだけでなく、農業が好きなお若者もいて、初めての取り組みに不安を抱きながらも、この小豆に大きな可能性を感じています。栽培会と業者さんが、紹介してくれた市役所、種継人の会が一体となつて、これからも小豆「娘来た」をみんなで育ててゆきたいものです。

このように、皆様のご協力もあり、昨年からの二つのプロジェクトは大きく動き始めています。お年寄りが細々と受け継いできた在来作物の種子が地域に広がり、地元の誇れる産物・仕事として生まれ変わろうとしています。今後の予定は表の通りと

なっています。皆様もお時間がある時は是非活動にご参加ください。よろしくお願いいたします。

種継人の会代表 布施大樹

今後の予定

【ワークショップ用の箒】

収穫、選別、脱穀、煮だし、乾燥作業支援

※八月九日(日)

集合場所…午前六時 里美せせらぎの郷集合

【河合(横山さん)の箒】

収穫、選別、脱穀、煮だし、乾燥作業支援

※八月二十二日(土)、二十三日(日)

集合場所…午前七時半 常陸太田市役所 南側駐車場

※お手伝い大募集!

【箒つくりワークショップ】

毎月一回、第三金曜日午後二時〜開催

・八月二十一日(金)

集合場所…午後二時 里美ふれあい館 駐車場

・九月十八日(金)・十月十六日(金)

十一月二十日(金)・十二月十八日(金)
会場…Cafe+1

【常陸太田手仕事展】

箒の展示・販売とワークショップ

十月一日(木)〜四日(日)

会場…梅津会館二階

【映画「河合の箒」無料上映会】

十月十日(土)

六時半開場、七時上映開始
会場…梅津会館二階

「在来作物みつけた!」

① 栗豆

栗豆ホクホクした栗のような食感からその名がつけました。里美地区小中町の農家さんが毎年七月中旬に種をまいて、完熟した豆を直売所で販売しています。



② お茶菓子豆

太田地区春友町の農家さんの豆。大粒で息を飲むような美しい紫色です。収量も多く、お茶請けの煮豆にもつてこいとのこと。



いずれの種子も来年より頒布を始める予定です。

種継人の会 会費納入のお知らせ

種継人の会は会として継続した、自立的な活動を進めるため、会員会費をお預かりすることで合意しました。入会ご希望の方はお手数をおかけしますが、お近くの会員に会費をお預けいただくか、あるいは下記口座まで会費の納入をお願いいたします。また、今後のご連絡は基本的にメールで、活動の報告はウェブサイトを中心に行っていきたいと考えています。メール連絡へのご理解とご協力も併せてお願い致します。

会員年会費：1,000円
ゆうちょ銀行 種継人の会(タネツグビトノカイ)
記号：10630 番号：15285671